

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 30 年 2 月 8 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-4710
ki-somu@city.yokohama.jp



【ブルキナファソナショナルデーにおける次期大使による挨拶】

ブルキナファソナショナルデー記念式典が開催されました

平成29年12月1日～28日まで、「ブルキナファソナショナルデー記念プログラム2017 in 横浜」(主催:駐日ブルキナファソ大使館、共催:横浜市)が開催されました。ブルキナファソのナショナルデーが横浜で開催されるのは4年連続となりました。



会場であるJICA横浜国際センターの3階展示室では、ブルキナファソ野球に関する写真展が開催されました(12月1日～26日)。また、3階ポートテラスカフェでは、ランチタイムにブルキナファソ料理の提供が行われました(12月4日～28日)。

12月10日(日)には記念式典が開催され、100人以上の方にご参加いただきました。パスカル・バジヨボ次期大使のご挨拶に続き、横浜、日本、JICAの代表者による来賓としてスピーチを行いました。

その後、ブルキナファソへ野球用具を寄贈された2団体への感謝状

贈呈、星槎高等学校生徒による国際交流の取組やブルキナファソに関するスピーチ、またブルキナファソでの野球の普及に貢献された元JICA青年海外協力隊員による講演及び上映が行われました。



大さん橋ホールで「環境未来都市・環境絵日記展 2017」を開催しました

12月10日に大さん橋ホールで、「環境未来都市・環境絵日記展 2017」が開催され、市内小学校を中心に、23,000点もの応募の中から、選りすぐりの600点が展示されました。



今回は、横浜とサンディエゴとの姉妹都市提携60周年を記念し、特別企画として、サンディエゴの小学生が環境絵日記に参加しました。

多くの来場者がサンディエゴのブースに足を止め、海外の小学生が描く未来に興味深く見入り、たくさんの「いいね!」シールを貼っていました。

第39回 ユニセフ ハンド・イン・ハンド募金活動に参加しました

12月17日に、横浜駅のビブレ前広場で、第39回 ユニセフ ハンド・イン・ハンド募金活動が行われ、横浜市の小学生、中学生、ボランティアの方々と共に国際局長が参加し、一人でも多くの方々に世界の子どもの現状を伝えようと、国際支援への協力を呼びかけました。



世界中のすべての子どもたちの命と健康を守るために活動しているユニセフは、生まれる国や境遇に関係なく、子どもたちが教育をはじめ十分な栄養や緊急支援等を等しく受けられるよう、190の国と地域で支援活動を実施しています。

国連が採択した持続可能な開発目標(SDGs)の一つに、「すべての人に保健と福祉を」という項目も掲げられており、本市はSDGsの達成に向け、今後も取り組んでいきます。